

景気動向指数
平成 26 年 3 月分（速報）の概要

3月のC I（速報値・平成22年=100）は、先行指数：106.5、一致指数：114.0、遅行指数：116.8となった。（注）

先行指数は、前月と比較して2.2ポイント下降し、2か月連続の下降となった。3か月後方移動平均は1.93ポイント下降し、2か月連続の下降、7か月後方移動平均は0.24ポイント下降し、15か月ぶりの下降となった。

一致指数は、前月と比較して1.1ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は0.73ポイント上昇し、16か月連続の上昇、7か月後方移動平均は0.79ポイント上昇し、14か月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.2ポイント下降し、5か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は0.76ポイント上昇し、14か月連続の上昇、7か月後方移動平均は0.62ポイント上昇し、18か月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

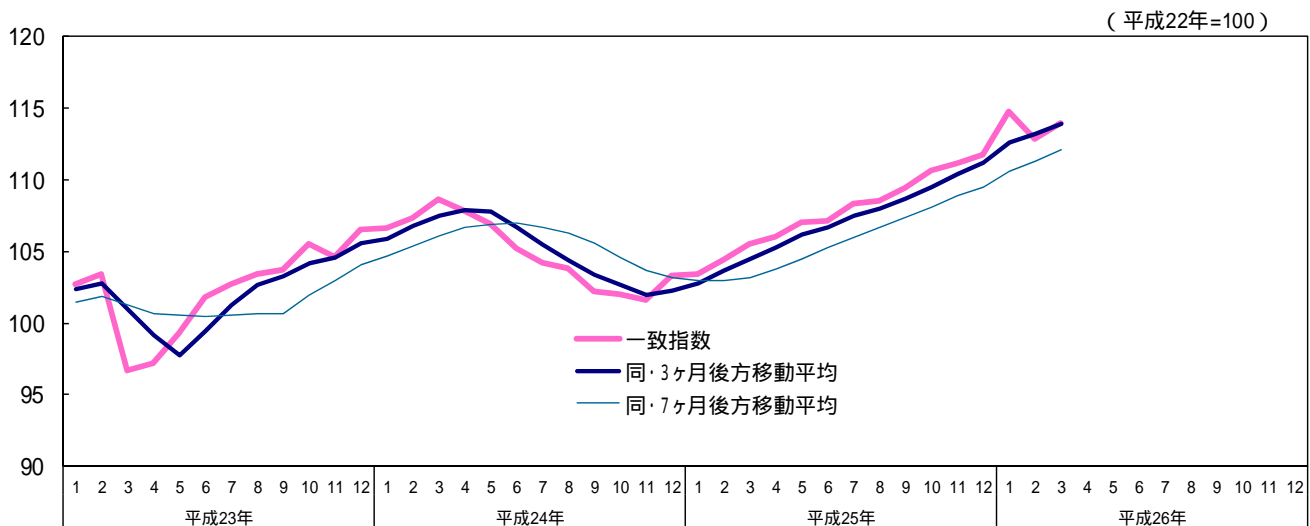
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.51	C4：耐久消費財出荷指数	-0.21
C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	0.40	C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.15
C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	0.20	C10：中小企業出荷指数(製造業)	-0.05
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.13		
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.12		
C3：大口電力使用量	0.03		
C1：生産指数(鉱工業)	0.02		
C9：営業利益(全産業)	0.16		

「C9 営業利益（全産業）」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）平成26年5月2日（金）（公表日の3営業日前）までに公表された値を用いて算出した。